

大神公民館だより

大神公民館のウェブ

平塚市立大神公民館

検索

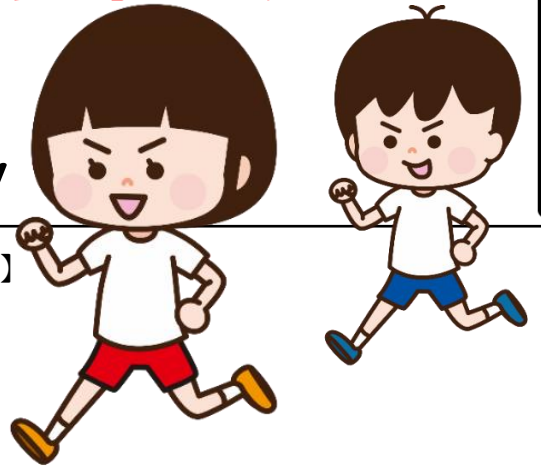
平塚市立大神公民館広報紙
平塚市大神2391-1
☎55-5040 FAX51-1366

令和3年6月発行 No.3

デイキャンプ (体験学習会)

★お知らせ★

※今年は何を変えて開催します！



- <日 程> **令和3年7月24日(土)** 【雨天中止】
- <場 所> 大神公民館 南側広場及び公園
- <集合時間> 午前9時00分
- <対 象> 相模小学校 1年生～3年生
- <申し込み> 参加希望者は、6月23日(水)までに申込書を記入し、担任の先生へ提出してください。申込書は学校から配布されます。
- <持 ち 物> 水筒(飲み物)、汗ふきタオル、帽子、マスク
※持ち物には名前を記入してください。
- <服 装> 運動ができる服装、熱中症対策(帽子など)
- <内 容> レクリエーションゲーム大会、参加賞あり
- <そ の 他> 新型コロナウイルス感染症まん延防止対策を講じて実施いたします。今後の状況によっては中止または内容に変更がある場合があります。学校から配布される申込書裏面の注意事項をご確認のうえお申込みください。解散時には、公民館周辺の混雑が予想されます。地域の皆さまにはご迷惑おかけしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。

※コロナウイルス感染防止のため
カレーはありません。

タイムスケジュール (予定)

9:00	集合・受付	
9:20	ラジオ体操	
~	レクリエーションゲーム大会	【開始】
10:30	//	【終了】
	結果発表	
10:45	参加賞配布	
11:00	解散	

<地域をつなぐ連携事業>

主催

大神公民館・大神社会福祉協議会
(社会を明るくする運動)



大神の史跡紹介 第③弾

【協力】福祉村大神よりきの郷
大神の歴史を知る会
小冊子「大神歴史散歩」

寄木神社 (大神字宮戸2746)

「寄木」は神霊の宿る流木の意であり、相模川との繋がりがある神社。祭神は社伝に貞観元年(889年)大神朝臣田仲麻呂が大和国城上郡大神神社祭神「大己貴命(オホミチノミコ)」を勧請した事に始まると伝える。大己貴命は大国主命の別名を持ち、素戔鳴命(スサノハミコ)の子孫で出雲神話の中心人物で、福神・縁結び神として崇敬された。本殿は一間社流造、銅板葺、檜丸柱建物で、紅梁絵柄は波頭文への移行期の形で幅広く、18世紀以降の建築と考えられる。



寄木神社本殿と銀杏

拝殿は棟札から安政4年(1857年)建造、装飾豊かで、桁行三間・梁間二間、入母屋造、鉄板葺、檜角柱建物である。祭礼は昭和まで10月3日に行われたが、現在は10月上旬日曜日に行われ、町内を白丁姿で神輿を担ぎ練り歩き、最後に相模川旧堤防付近で相模川の水を汲む禊ぎを行い、夕刻宮入りする。神楽殿では芝居などが上演され、露店も出て賑わう。

寄木神社名木



名木を偲ぶ碑

寄木神社左手に「名木を偲ぶ碑」が立つ。新編相模国風土記稿に「檜の大木 囲一丈三尺余(約4m)を神木とす」と記載する。記念碑裏面に「鎮守の宮、寄木神社境内北方ほぼ中央に位置せし大檜の名木は枝下四十二尺、周囲目通り十八尺七寸にして樹齢七百年を数えそもんなり、古く相模風土記に記載されて江湖の語り草たりしが。如何んせん風雨にさらされし事幾星霜、枯朽甚だしく枝折れ刺之社殿をも損なうこと屢々なれば、氏子一同その対策に苦慮せし末、遂に昭和34年10月16日神社本庁の許可を得て、同年12月25日伐採したりしかえども、ここにこの名木の面影を末長く遺さんが為に斑れい岩の名木記念碑が立ち、往時を偲ばせる。境内右手に二本の「銀杏

(イチョウ)」がある。昭和51年平塚市保全樹木指定第二号・第三号に指定された大木で、推定樹齢500年、樹高23m、周囲31mである。

「大神歴史を知る会」 ☞ 毎月第3火曜日 | 3時から リフレッシュプラザ平塚(大神よりきの郷)にて開催

※大神公民館からのお知らせ※

8月分の公民館利用申込受付は、**7月1日(木)午前9時**からです。



この印刷物は大豆インクと再生紙を使用して作成しました。